



2月12日(月)瓦礫撤去



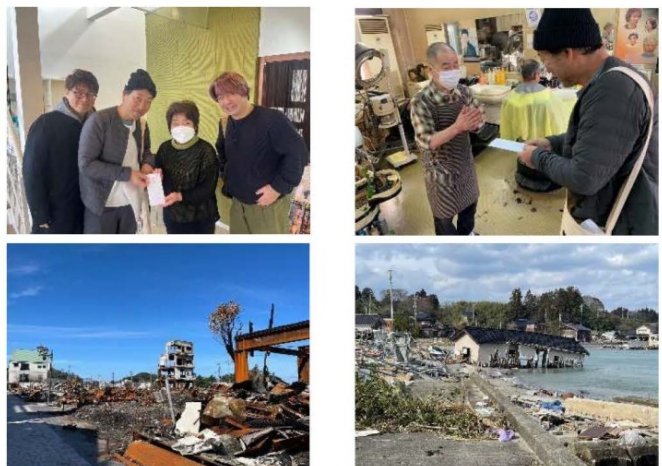
瓦礫処理ボランティア行ってまいりました。先発組と後発組の2班に分かれて行ってきました。場所は能登島の先っぽの方のお寺2つ、島に渡ってすぐは瓦が落ちていたぐらいだったのですが、島の先の方に行くとたくさんの方が倒れてました。ボランティアの方と地元の方の笑顔はサイコーです。大変な状況でも笑顔でコミュニケーションを取って、笑いながらブルーシートはったりしてました。僕たちにも「漁港だから」と言って鯛を捌いてご馳走していただきました。1日のボランティアの時間はすごく短いのですが、行ってみないとわからない状況と地元の人たちとの出会い、ボランティアに行った人たちとの仲間意識を感じることができました。

能登中学校へ炊き出しに行っていました。現場では水が使えない為洗う 刻む 汁物の水分の調達などが出来ない環境での炊き出し…Kさんが野菜肉など…下ごしらえ、調味、汁を凍結のおかげで、水の不要、調理の手間と衛生面の安全…全てにおいて用意して頂きました。食品加工業のスキルで衛生的に調理を進める方法など…万が一でも食中毒での通院が出来ない被災地の皆さんが食べる上で、配慮しなければならない事を教えて頂きました。勉強になりました。食材だけでなく、手袋 ペーパータオル 消毒液 ポリタンクでの水…膨大な準備仕事、配送をして頂いたからこそその炊き出しでした。また、お仕事上の関連会社さんからのたくさんのチョコパイの提供…バレンタインの日でしたから、若い学生さん達には特に喜ばれてました。

2月14日(水)炊き出し



2月17日(土)義援金を届けてきました



皆様の募金総額:約 248 万円を 17 軒の被災された美容室の方々に配るよう手配をしました。そのうち、氷見と七尾そして輪島に行ってお渡ししてきました。渡せなかった方々は、MさんとTさんをお願いしました。被害の状況は様々ですが、みなさん良くなるように明るく振る舞っておられました。伺ったお店は水が通る通らないに関係なく、営業してお客様を施術しておりました。その姿に何かいろいろな意味でジーンとききました。髪が綺麗になって帰られるお客様の喜んでる笑顔を見て、改めて美容師は素敵だと思いました。今回、初めて輪島まで行きましたが、本当に被害がすごかったです。